

新風 NEW BREEZE 2025

公明党八王子総支部ニュース vol.62

公明党八王子総支部長 都議会公明党幹事長

東村くにひろ



公明が中道改革勢力の軸に

公明党は10月10日、自公連立政権はいったん白紙とし、これまでの関係に区切りを付けることを決めました。これからは野党として行政や政府の監視と、民意に応える政策実現に全力を挙げ、人間に着目した中道主義、共生と包摂の社会をめざす中道改革の方向性を持って進んでまいります。(公明新聞10月16日付 斉藤鉄夫代表へのインタビューより)

協議の経緯

10月4日に自民党の高市早苗総裁と直接会った際、「政治とカネ」を巡る問題への姿勢など懸念を率直に示し、こうした解消が図られなければ連立政権をつくれないと伝えてきましたが、10日の政策協議で自民党側の見解を聞いたところ、企業団体・献金の規制強化は「これから検討する」という不十分な回答。また不記載問題についても全容解明に向けた具体的行動を示しませんでした。

高市総裁は「一方的に連立離脱を伝えられた」とのべていますが、企業・団体献金の規制強化は昨年から問題提起をしており、その都度、自民党は「検討する」「調査する」を繰り返してきました。政治日程の停滞が許されない中、公明党は連立政権への参画に区切りを付けることを決断しました。

党の方向性

長年与党として積み上げた知見や経験を持つ野党は公明党だけであり、多党化が進む政治状況にあっても、公明党は政治を混乱させるのではなく、党理念に基づいて政策ごとに賛成すべきは賛成する「是々非々」の姿勢を貫き、責任ある中道改革勢力の軸として政治の安定のために徹していきます。

大きな柱としては「東アジアおよび世界の平和と安定を図る外交・安全保障」「社会保障と税の一体改革」「科学技術力を活かした新たなエネルギー政策」など、「大衆とともに」の立党精神を根本に政策の実現に向け取り組みます。

都議会公明党ニュース

都議会第3回定例会質疑より

教育負担が「かからない」、物価高に「負けない」東京へ

バス通学定期代の軽減 学生パスの導入を！

都議会公明党は「バス定期券の負担が重い」との学生の声に応えるため、バス通学定期代の負担軽減を図る「学生パス」を提案してきました。知事は「学生が安心して学べる環境の確保は重要である。導入には国や交通事業者と共に通学費の現状と課題を整理する必要があるが、引き続き様々な観点から調査していく」と答弁しました。



シルバーパス制度を改善 高齢者の社会参加を促進！

高齢者の社会参加、物価高騰などをふまえ、東京都にシルバーパス制度の抜本的な改善を求めてきた都議会公明党は、今年10月1日からシルバーパスの利用者負担を20,510円から12,000円へ、4割軽減となる引き下げをついに実現。

公明党はさらに、多摩都市モノレールへの利用拡大とICカード化の早期開始について強く要望。これに対し都は「シルバーパスはICカード化により利用実態を把握しながら制度の改善を検討していく」と回答。ICカードにはパスモを採用し、2026年10月以降、できるだけ早期の移行を目指し、関係機関と調整を進めていることを明らかにしました。



東京アプリ、ポイントUPを 都民の暮らしを応援！

都議会公明党は、物価高騰対策として東京都公式アプリのポイントを7千円から1万円へ増額するよう訴えてきたことについて取組状況を確認。

知事は、10月にポイント交換先の決済事業者を拡大し、着実に実施を進めると表明。増額を含む物価高騰対策については「社会経済情勢を見極めながら今後検討していく」との積極的な答弁がありました。



東京都公式アプリHPより引用

学校の教材費や学用品などを無償化 安心して学べる環境を！

都議会公明党は、保護者の教材費の負担を減らすため、学校が教材を用意し、共同利用や複数年活用を進める視点を含めて具体的な方策



を提案すべきと主張しました。教育長は、こうした工夫を進める視点は重要であるとのべて「今後、外国を含む様々な取り組みを調査し、良い事例を都立高校の教育に役立てていく」と答弁しました。